

札幌社保協 FAXニュース

2010年 6月 8日(火)
社保協事務局 発行
TEL823-0867 Fax821-3701
E-mail:s-syaho@kin-ikyo.or.jp
http://www.sapporo-syahokyo.jp/

国保・介護・後期
高齢者110番は
6月24日です

学習と運動で「構造改革路線」とたたかおう！

札幌社保協13回定期総会

札幌社保協の2010年度第13回定期総会が6月3日、24団体から34人が出席して開かれました。

前日に鳩山首相が退陣表明したこともあり、各団体からも参議院選挙で政権や各党に向けて、要求実現の運動を強めようと強調されました。

総会方針では「地域主権改革」の名で、構造改革を自治体に押しつけて社会保障改悪を進める動きに対し、地域からたたかいを進めることの重要性が提起されました。また、「学習なくしてたたかいなし」と、介護保険の10年の検証をはじめとした、各団体・地域での学習運動が強調されました。

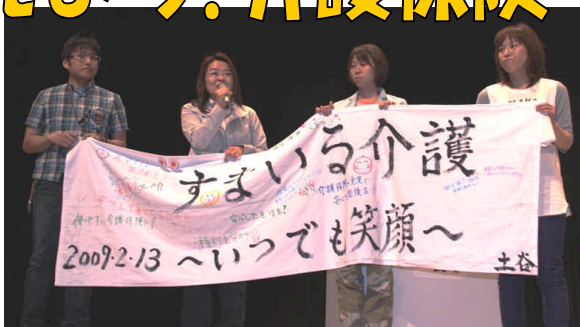
発言では、介護のサービスはずしの動向(勤医協在宅)、ヒブワクチン・子宮けいがんワクチンへの公費助成の運動(新婦人)、毎月朝のホームレスパトロール、児童会館のトルエン使用問題(西区)、医療費が高額でがんの治療をあきらめざるを得ない事例(勤医協)、後期高齢者医療制度廃止の学習会と運動強化の必要性(北区、年金者組合)、介護保険の学習を重視して取り組んだ(東区)、6月市議会代表質問から見える上田市長の政治姿勢(共産党市議団)、国保料の滞納による保険証の取り上げ(中部民商)、税金の滞納処分と差し押さえ(東部民商)、労働相談から見える企業のモラルハザードと相談者の精神疾患の多さ(地区労連)などが出されました。

総会では高崎裕子(弁護士)、堀毛清史(北海道勤医協理事長)、諏訪田秀樹(地区労連副議長)、佐藤宏和(道生連事務局長)の4氏を代表委員に、斉藤浩司氏(北海道勤医協)を事務局長に選出しました。



変えよう!介護保険

壇上で安心できる介護保険に、と訴えました



「介護に笑顔を!道連絡会」による「変えよう!介護保険全道集会」が6/5に札幌で開催され、介護従事者や利用者家族など、全道各地から400人が集まりました。

福祉保育労、かりふ、苫小牧の介護保険の問題点や介護労働者の喜びを表現した各パフォーマンスには会場も大盛り上がり。続くシンポジウムでは施設管理者、ケアマネ、家族の会、ヘルパーの代表から介護保険の現状と問題点が出されました。

介護保険の抜本的な見直しを、参院選挙や改定に向け声をあげていこうと確認されました。

後期高齢者医療制度はすぐに廃止! 6. 15年金支給日宣伝

<札幌中心街宣伝>

6月15日(火) 12:30~13:00

池内デパート前(中央区南1条西2丁目)

各区でも午前中に駅頭や店頭などで宣伝と署名が行われます。ぜひ参加を!

税金、国保・介護・後期高齢者保険料 住民負担増に対抗する学習決起集会

日時: 6月17日(木) 14時~16時

会場: 菊水ビル(勤医協札幌病院裏)

- 国保料等の動向と私達の運動
- 今年の国保・介護・後期高齢者保険料、住民税はどうか、減免制度の活用と運動
- 国保の広域化と医療保険一元化の動向